

東京都における多言語対応等の取組について

平成28年12月5日

東京都

概要

2016 リオデジャネイロ オリンピック・パラリンピック期間中、オールジャパンによる東京／日本のPRを行うための「Tokyo 2020 JAPAN HOUSE」を開設した。その中の、東京都エリア及び文化体験エリアにおいて、国立研究開発法人 情報通信研究機構(NICT)の協力を得て、外国人来場者とのコミュニケーションに、多言語音声翻訳システム(VoiceTra)を活用した。

【Tokyo 2020 JAPAN HOUSE】

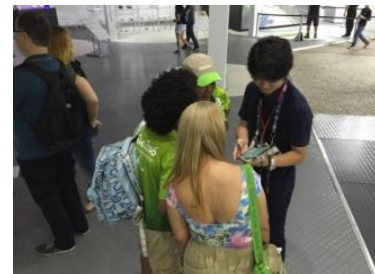
- 日 時 : オリンピック期間 平成28年 8月 5日 (金) ~ 8月21日 (日)
パラリンピック期間 平成28年 9月 7日 (水) ~ 9月18日 (日)
- 場 所 : Cidade das Artes(シダージ・ダス・アルテス)
- 主 催 : 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
東京都、公益財団法人 日本オリンピック委員会(JOC)、公益財団法人
日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会(JPC)



JAPAN HOUSE会場

多言語音声翻訳システム (VoiceTra) の活用

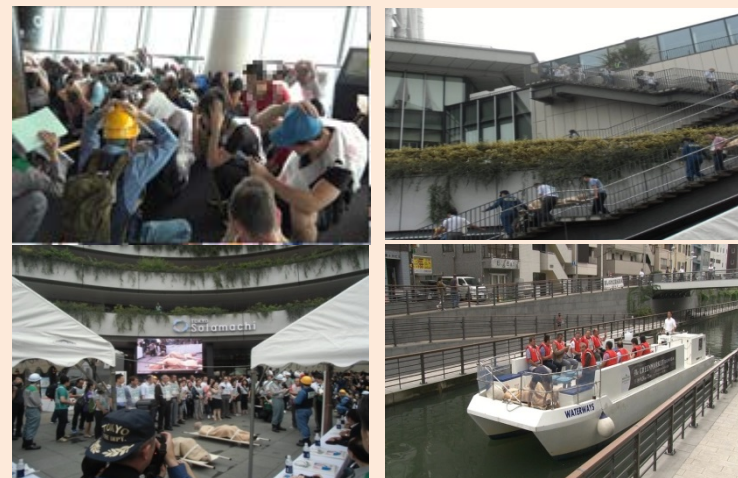
- 2016 リオデジャネイロ 競技大会に向けて、総務省・NICTは、2016年7月、ブラジルポルトガル語の音声入出力機能を追加した。
2016 リオデジャネイロ 競技大会期間中のJAPAN HOUSEを、実証の絶好の機会と捉え、VoiceTra を搭載したタブレットを活用し、一般的な案内や、東京都エリア及び日本文化体験エリア等での現地外国人話者とのコミュニケーションに活用した。
[会話例]「東京の水道水は飲むことができます。」、「墨が乾くまで暫く待って下さい。」、「何の競技を見ましたか?」、「日本の文化に興味があります。」、「2020年にできたら東京に行ってみたいです。」等
- 今後、2020年大会時の実用化に向けて、翻訳精度や利便性、ノイズ対策の更なる向上を期待します。



JAPAN HOUSE会場でのVoiceTra(タブレット端末)活用状況

1. 訓練概要

- 日 時:平成28年9月4日(日) 午前8時～9時40分
- 場 所:墨田区会場(東京スカイツリー®天望デッキ、4階スカイアリーナ、1階ソラマチひろばほか)
- 首都直下地震により、大規模な集客施設(東京スカイツリー®等)から外国人観光客等が避難することを想定した訓練
- 29か国115名の各国大使館関係職員・JICA(独立行政法人国際協力機構)研修員・外資系企業社員等が参加
- 1Fソラマチひろばまで避難後、負傷者役を船着場まで誘導し舟で搬送



東京スカイツリー®における訓練の様子

2. 多言語音声翻訳ツールを活用した訓練

- 外国人観光客等に、多言語音声翻訳システム(VoiceTra)※を活用したツール(メガホン型やペンダント型翻訳機)を活用した訓練を実施(活用例)「みなさん、こちらに集合してください」「ここは安全ですので、落ち着いて行動して下さい」「どこを怪我をされていますか」など、翻訳機を用いて2言語(日・英)で呼び掛け



メガホン型端末による避難者への呼び掛け



ペンダント(首掛け)型端末による容態確認



車載型大型ディスプレイを用いた訓練案内等も2言語(日・英)で実施

1. タブレットの導入

①目的

運行情報や駅周辺施設等の情報を迅速に閲覧できる環境を整備し、案内サービスの充実を図る。



②実施内容

- 実施時期 平成28年4月1日～
- 導入場所
都営地下鉄・日暮里舎人ライナー各改札口など
浅草線の乗務員(車掌)
- サービス内容
翻訳、乗換案内、地図情報アプリを搭載

③今後の方向性

- 導入箇所の拡大
- 案内機能の追加 など
サービス拡大を検討

2. 無料Wi-Fiサービスの環境整備

①目的

訪日外国人の更なる利便性向上を図るため、都営交通における無料Wi-Fiサービスの拡充を図る。

②実施内容

- 都営地下鉄駅構内
都営地下鉄101駅 Wi2が利用可
うち35駅 NTTBPも利用可
- 都営地下鉄車内
浅草線全編成 NTTBP及びWi2を利用可
大江戸線でのサービス提供に着手
(平成28年度10月末現在)
- 都営バス(路線バス)車内
全路線バス車両 NTTBPが利用可

③今後の方向性

平成32年3月までに都営4路線の全編成に導入予定



エス・ティ・ティ・プロトタイププラットフォーム(株)
(NTTBP)



(株)ワイヤ・アント・ワイヤレス
(Wi2)

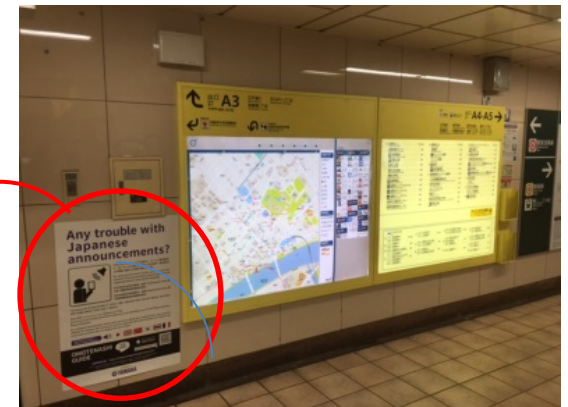
その他の取組 (新技術を活用した多言語案内の実証実験)

○駅構内の情報等を音響通信を使ってスマートフォン等に多言語で表示するシステムを検証

○対応言語 : 6言語(日本語、英語、中国語(繁体・簡体)、韓国語、タイ語、フランス語)

○実施期間・場所

平成28年5月19日～平成29年3月31日
・浅草駅改札外案内板(平成28年5月19日～)



2016
12/20

多言語対応 ICT化推進フォーラム

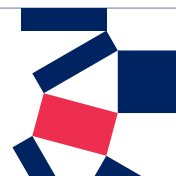
Multi-lingual & ICT Forum

～人と技術で伝える、伝わる～



日時:平成28年**12月20日**(火)
10:00~17:45(終了予定) 9:45~受付開始
会場:ベルサール東京日本橋 B2F

Official
Programme



【対象】多言語対応に取り組む、または取り組もうとしている全国の自治体や民間団体など

基調講演

Keynote Speech

外国人の視点からの
多言語対応の取組

特別講演

Special Speech

診療・臨床の場における
多言語音声翻訳を
活用した試み

パネルディスカッション

Panel Discussion

「やさしい日本語」の可能性



ICT展示

ICT Exhibition

多言語対応に役立つ
ICT(情報通信技術)の紹介

主催:2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会

【多言語対応協議会ポータルサイト】 <http://www.2020games.metro.tokyo.jp/multilingual/>


〈参考〉多言語対応協議会は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、外国人旅行者の受入環境整備に欠かせない、表示・標識等の多言語対応を強化・推進するため、平成26年3月、国の関係行政機関、関係地方公共団体、関係機関、民間団体及び企業等が相互に連携・協働して取り組むことを目的として設置。同年11月には、協議会における検討結果を取りまとめ、交通、道路、観光・サービスの各分野における取組方針を策定。現在、62の機関・団体によって構成。

プログラム (予定)


ホール A 13:00~17:45	13:15~14:00 第5回 多言語対応 協議会 (構成員のみ)	15:00~16:15 観光セミナー ・文化財の英語解説 ・ナビゲーションアプリ ・ショッピングツーリズム ・飲食店の多言語対応	16:15~17:45 パネルディスカッション 「やさしい日本語の可能性」 パネリスト: 弘前大学 人文社会科学部 教授 佐藤 和之 氏 一橋大学 国際教育センター 教授 庵 功雄 氏 横浜市 国際局 政策総務課 担当課長 関谷 聡 氏 やさしい日本語ツーリズム研究会 事務局長 吉開 章 氏 コーディネーター: 首都大学東京 都市教養学部 教授 西郡 仁朗 氏			
	10:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00

ホール B 13:00~17:45	13:00~13:10 挨拶 ・小池都知事 ・丸川オリパラ大臣 (調整中)	13:15~14:00 リオ大会報告 ・通訳ボランティア 活動報告 ・ICT視察報告 ・外国人旅行者の 受入環境整備	14:20~15:00 基調講演 「外国人の視点からの 多言語対応の取組」 小西美術工芸社 代表取締役 社長 デービッド・ アトキンソン 氏	15:00~15:45 安心・安全 セミナー ・救急現場での 多言語音声翻訳 ・防災ピクトグラム	15:45~16:15 特別講演 「診療・臨床の場における 多言語音声翻訳(VoiceTra) を活用した試み」 東京大学医学部附属病院 国際診療部 副部長 講師 山田 秀臣 氏	
	10:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00


多言語対応に役立つICT(情報通信技術)の紹介



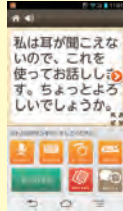
メガホン型翻訳機



スキャン翻訳



多言語音声翻訳システム



聴覚障害者とのコミュニケーション支援アプリ

メガホン型翻訳機/スキャン翻訳/多言語音声翻訳技術/発話と同時に複数の端末に音声翻訳された会話の文字情報表示システム/デジタルサイネージ/外国人旅行者のおもてなし関連アプリ/聴覚障害者とのコミュニケーション支援アプリ/Wi-Fi環境なしに音声情報で多言語の文字情報を伝達する技術/など

多言語対応協議会 構成団体展示・リーフレット等の配布

- ・外国人にわかりやすい地図の新規定及び事例
- ・災害時情報発信アプリ
- ・文化財の英語解説のあり方
- ・多言語対応のPR動画
- ・自治体の観光チラシ、ガイドブック、マップ、指ししボード、WEBサイト紹介、アプリ、Wi-Fiサービス、生活便利帳、多文化共生事業等

アクセス

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-7-1東京日本橋タワー

「日本橋駅」B6番出口直結

(銀座線・東西線・浅草線)

「東京駅」八重洲北口徒歩6分

(山手線・京浜東北線・横須賀線・総武本線・東海道本線・中央本線・京葉線・成田エクスプレス・東海道新幹線・山陽新幹線・東北新幹線・山形新幹線・秋田新幹線・上越新幹線・長野新幹線・丸ノ内線)

「三越前駅」B6出口徒歩3分

(銀座線・半蔵門線)

※日本橋エリアは、ベルサール八重洲(別会場)もありますので、ご注意ください。



参加申込方法 締切12月15日(木)

多言語対応協議会ポータルサイトもしくは以下のURLよりお申込みください。

※事前に参加登録いただけない場合、当日受付にてお時間を頂戴する恐れがございます。

https://enquete.cc/q/multilingualization_tokyo

9:45~受付開始



参加申込に関するお問い合わせ先

多言語対応・ICT化推進フォーラム参加申込事務局
株式会社コングレ内

TEL: 03-5215-6955

FAX: 03-5216-3115 / E-mail: sec-multilingual@congre.co.jp

内容に関するお問い合わせ先

東京都オリンピック・パラリンピック準備局
〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

TEL: 03-5388-2169